

事業所名

児童デイサービスセンターど・れ・み

支援プログラム

作成日

令和8 年

2 月

12 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性が生かされ、安心して暮らせるように支援する 地域社会の一員として共に生きていけるよう支援する 								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭と連携しながら発達段階に応じた適切な支援を提供します 医療的ケアが必要な児童が安心して過ごせるよう、専門性の高い知識を身に付け、障害の特性に合わせた療育サービスを提供します 								
営業時間		学校日	8 時	30	分から	17 時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
		休校日	9 時	00	分から	16 時	00	分まで		
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 注意深く心身の状態を観察し、必要に応じて医療的ケアを行いながら支援します 食事やお風呂、トイレなどの生活場面では、安全に気持ちよく過ごせるように支援します 遊びや活動、社会経験を通して身体的・精神的に成長できるよう支援します 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 安定した呼吸や姿勢を維持するためのケアや支援を行います 運動遊びや感覚遊びを通して感覚要求を満たして整え、感覚の成長を支援します 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 観察やご家族からの聞き取りから認知機能や行動を起こす理由を把握して支援します 物の形や重さ、固さや色などを認識できるよう、さまざまな体験や活動を行います 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 表情や目線などを観察してお子様の気持ちを汲み取りながら支援します お子さんの笑顔や反応を引き出すことができるような関わりや環境調整を行います 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 抱っこやアイコンタクト、スキンシップや声かけを行い、信頼関係や愛着形成を促します お友達との小集団活動を通して、順番やルールを学び、社会性が育まれるように支援します 								
家族支援		保護者面談（半年に1回）に加えて随時共有を図り、事業所での様子をご家庭での様子を情報交換します。事業所とご家族が同じ想いで支援の方向性を共有できるよう努めます。また、兄弟姉妹のお子様のご相談も受けております。				移行支援		保護者や学校、医療機関や関係機関と定期的に連絡を取り合い、お子様の様子を共有します。また、成人サービスへの移行の準備を進めていきます。		
地域支援・地域連携		保育園、主治医や医療機関、保健師（行政機関）、障害福祉サービス事業所などと連携し、地域の人たちと交流しながら、お子様とご家族が安心して心地良い生活が送れるよう支援します。				職員の質の向上		事業所内で①虐待防止研修、②感染症対策に関する研修、③ハラスメント防止研修、④その他、外部（オンライン含む）の発達支援に必要な知識・技術の研修に参加しています。		
主な行事等		季節にあわせて水遊び、縁日、スポーツ大会、クリスマス会、書き初め、バレンタインお菓子づくり、卒業を祝う会などを実施しています								